

インテリジェンス

- サステナビリティ推進のコアメンバーを対象に、日々収集するニュースのスループット能力を高め、未来仮説に活かすためのワークを実施

サステナビリティ推進部長



サステナビリティについて、幅広くクリッピングを実施している。日々大量の記事に目を通して、それを解釈しきれていない。サステナビリティ企画を担う部署として、これらを長期シナリオの検討に活かすためのスキルを身に着けたい。

参加者



サステナビリティ推進部の課長職10数人

プロジェクト概要



- ① 日々目を通してきた記事の中で、印象に残っている記事を選ぶ
- ② 日本総研が用意するフレームワークに則り、「15年後の世の中（社会・経済・環境）で何が起こりえるか」の仮説あるいは「15年後はどういう世の中」のアイデアを考える
- ③ グループに分かれ、気候変動シナリオと整合を取りながら、仮説の根拠となる記事の整理・ブラッシュアップを繰り返す

本事例のポイント



- ・ピンポイントでの公開情報がない・統計的アプローチの限界がある、かつ自社に変化の対応する期間が十分にある「15年先」をゴールを置くことで、柔軟にシナリオを複数描く
- ・すでに大量にある材料を題材に、スループットの能力を高める

出所：日本総研作成